

# 月刊推進技術



公益社団法人 日本推進技術協会

<http://www.lswweb.co.jp/micro-tunnelling/>

月刊推進技術

<http://www.suisinkyo.or.jp>

e-mail: [info@suisinkyo.or.jp](mailto:info@suisinkyo.or.jp)

**7**  
Vol.26 No.7  
2012(平成24年)

特集

## ここまで進化した推進技術

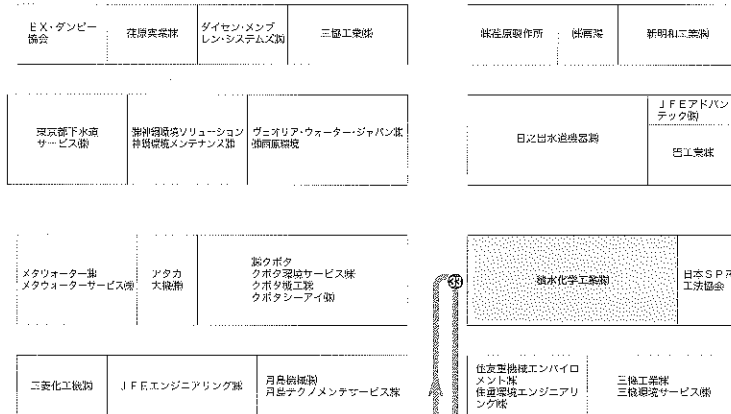
下水道展特集号 ようこそ下水道展'12神戸



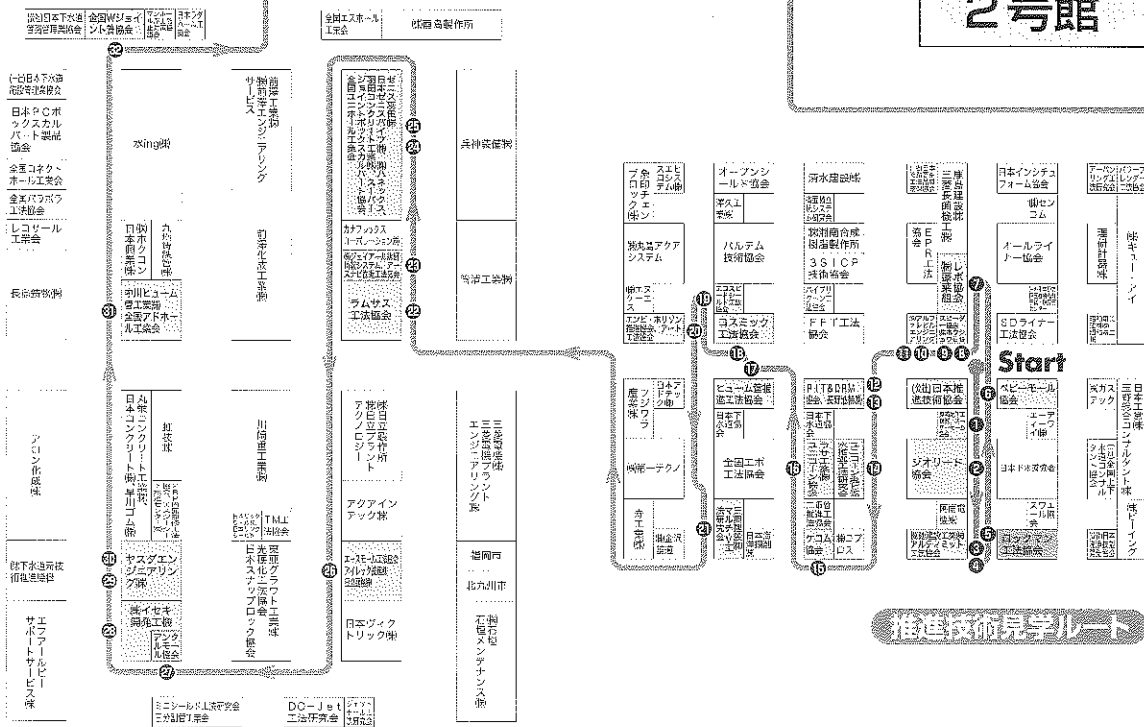
# 2時間で全てまわれる!! 推進早見マップ

## 本誌記事掲載会社(団体)

### 3号館



### 2号館



※本見学ルートは、当協会の会員でダイジェスト記事の編集協力をいただいた出展者を対象に掲載しています。

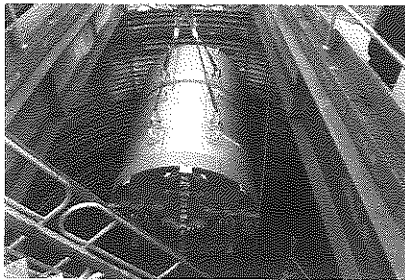
### 19 推進工法の弱点をシールド工法で克服 「推進・シールド併用タイプ」

大 小 改 造 増 設 小間番号 1-57

エコスピードシールド工法協会

<http://www.eco-speed-shield.com/>

推進・シールド併用タイプは、推進工法とシールド工法の両方の利点と欠点を補い合うことで、多様化する現場ニーズにお応えします。国道、軌道、河川横断、重要構造物の近接施工や、到達から急曲線までの延長が長く、推進工法での信頼性が危惧される場合に最適です。その他、様々な用途が存在し、本ブースではその1つである京都市の事例を紹介します。



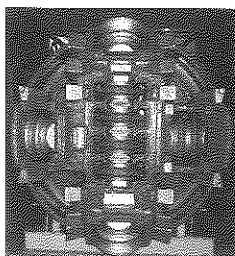
### 22 φ250mmラムサス-S工法での 管内測量完成

大 小 改 造 増 設 小間番号 2-12

ラムサス工法協会

<http://www.ramsus.com>

泥土圧吸引排土方式ラムサス-S工法は、呼び径250より管内からの測量が可能となりました。小型のジャイロを搭載し高精度での施工が可能。短時間で測定ができ日進量の補正が不要になります。250mm先導体と測量装置を展示します。デモ測定も行えます。また、既設構造物到達用のφ800mm分解型ラムサス掘進機を今現在施工中のためパネル等で展示します。ご来場お待ちしております。



### 20 MMホール 改築推進工法用ヘッド

大 小 改 造 増 設 小間番号 1-49

エンピ・ホリゾン推進協会/アート工法協会

<http://www.enpi-horizon.gr.jp> <http://www.011.upp.so-net.ne.jp/art/>

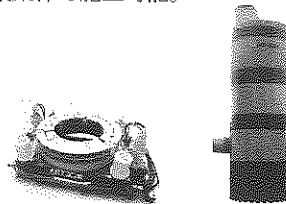
下水道小口径分野では管種、土質条件など様々なニーズが要求されます。

#### ◆MMホール

狭険な場所・工期短縮が望まれる条件下でマンホールとして小型立坑用として開発。

#### ◆改築推進工法用ヘッド

老朽管の割合が増加し、今後一層の改築工事のニーズが高まることが予想。エンパイナ工法・ホリゾンガー工法の技術を前提として従来の推進工法と同等の作業条件で施工可能。



### 23 各種管径(最小φ250mm)に対応可能 な地中ナビゲーションシステム

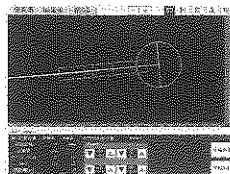
大 小 改 造 増 設 小間番号 2-13

アースナビ推進工法協会

光ファイバジャイロを搭載した地中位置計測システム「Sリード」で、掘進機の位置計測と立坑内のストローク計で推進距離を計測し幾何学的に位置計測をします。他方式と比べ計測時間が短く、施工時間の大幅な短縮が可能となりました。

#### 【特長】

- ①各種推進工法に適用可能
- ②地上作業や計測器の設置作業がない
- ③推進と同時に計測が可能で施工時間を短縮
- ④土被りや光学視界などの計測に制限がない
- ⑤オペレータ支援システムを標準搭載



### 21 現場に適した技術で誕生した 新下水道仮排水工法マルチ-V

大 小 改 造 増 設 小間番号 1-41

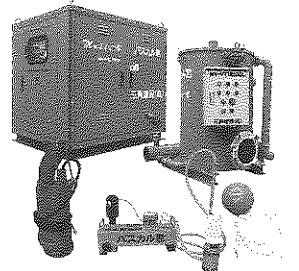
マルチ-V工法研究会/三興建設(株)

<http://www.sanko-g.co.jp>

下水道仮排水工法は、まさに心臓外科手術における心肺維持装置と言える程、下水道管路の敷設替え工事においては仮排水工事を如何に適切に施工するかが本工事と同レベルの重みを持っています。

これまで仮排水工事は、不衛生な作業環境、品質の確保など着工から引き渡しでのストーリーが描けない問題がありました。そこで現場の視点から仮排水を追求して考

えた工法がマルチ-V工法「パスカル君」です。



### 24 4,000t前後の小～中規模 雨水貯留に超大口径推進管がお得!

大 小 改 造 増 設 小間番号 2-15

日本ゼニスパイプ(株)

<http://www.zenith.co.jp>

運搬できない呼び径3000を超える推進管を2分割で製造し、現場にて一体化することにより製品化したしました。お陰さまで施工実績を重ね、横浜市、千葉市、愛知県で採用していただいております。横浜市では、推進管としては世界最大口径4,000mm、延長330m、貯水量4,100tに採用されました。ゲリラ豪雨対策に有効な雨水貯留施設、特に小～中規模1,500～4,000tの貯留量で経済性を発揮いたします。

